

2021年4月8日

## HSBC、日中 ETF コネクティビティ・スキーム下での ETF の新規設定を支援

HSBC は本日、日中 ETF コネクティビティ・スキームの下で、クロスボーダー ETF（上場投資信託）の新規設定支援を成功裏に実施したことを発表しました。このスキームにより中国国内と海外の資本市場の間の相互上場が引き続き促進されることとなります。国際的な投資家は、広東・香港・マカオを結ぶグレートベイエリア（GBA）および急成長している中国のテクノロジー産業の成長機会をとらえるために、東京証券取引所に上場されているフィーダーETF（海外上場 ETF に投資する ETF）を通して中国の資産に間接的に投資することが可能となります。

HSBC は、大和アセットマネジメント株式会社（以下『大和アセットマネジメント』）による 2 本の日中コネクティビティ ETF の新規設定および取引を支援するため、適格国外機関投資家制度（QFII）に対するオンショア・カस्टディ・サービスを提供し、当 ETF は本日の上場に至りました。

大和アセットマネジメントの **iFreeETF 中国グレートベイエリア・イノベーション 100 (GBA100)** は、深圳証券取引所 **GBA 100 指数連動型** で、日本での上場が当 ETF にとっての初の海外市場上場となり、このファンドによって、国際的な投資家はグレートベイエリア（GBA）の経済的発展から効率的に恩恵を受けることが可能になります。

大和アセットマネジメントが運用する **iFreeETF 中国科创板 50 (STAR50) ETF** は、上海証券取引所において中国のイノベーションをリードする企業をターゲットとした市場である科创板に上場されており、中国の急成長ハイテク企業 50 銘柄から構成される **STAR50 指数連動型** です。中国国外で取引される STAR50 連動型 ETF としてはアジア初のファンドとなります。これは 2019 年にスタートした「日中 ETF コネクティビティ」スキームに基づいて上場されたファンドとしては 2 番目の ETF です。

HSBC グループの香港上海銀行東京支店でマーケッツ&セキュリティーズ・サービスズ統括本部長を務める永原千華子は、次のように述べています。

「日本の投資家、そして国際的な投資家は東京証券取引所に上場されているフューダーETFを通して中国の資産に間接的に投資することより、拡大するグレートベイエリアや中国の急成長を遂げるテクノロジー産業への投資機会をとらえることが可能になります」

「今回日中ETFコネクティビティのスキーム下で初となるETF設定で日本証券取引所と深圳証券取引所のETF市場が初めて結び付いたことにより、今後日本の投資家の皆さまにより広くサービスを提供するべく努めてまいります」

日中ETFコネクティビティ・スキームが2019年に導入されて以来、HSBCはこのスキームを利用した日本の資産運用会社5社中3社に対して、適格国外機関投資家制度（QFII）に対するオンショア・カストディ・サービスを提供してきました。HSBCは中国におけるQFIIに対する主要なカストディ・サービス提供企業となっており、15市場をカバーし、2003年のQFII制度の導入以来、積極的な改善および高度化を行ってきました。2020年に導入された新たなQFII制度の下でHSBCは、初となる一連のセキュリティーズ・レンディング（貸株業務等）取引、初のオンショア・プライベート・ファンド投資、中国本土におけるQFII制度による初の海外投資家による一連の空売りなど、市場では初めてとなる多数の取引を支援しております。

注記：

#### 香港上海銀行

香港上海銀行はHSBCグループの母体行です。HSBCグループは、ヨーロッパ、アジア・太平洋、南北アメリカ、中東、北アフリカにまたがる64の国と地域で皆さまにサービスを提供し、2兆9,840億米ドル（2020年12月末現在）の総資産を持つ、世界有数の金融グループです。

以上